

「VMware VSANは、想像以上に高いIOPSを発揮し、面倒なボリューム(LUN)管理も不要です。専用ストレージを導入することなく、高いパフォーマンスと拡張性を確保し、エンタープライズユーザーも納得できる信頼性の高いストレージサービスを提供できるようになりました」

株式会社アイネット
宮川 佳子 氏



株式会社アイネット
クラウドサービス事業部
プロダクトマーケティング部
担当部長
宮川 佳子 氏

カスタマープロフィール

1971年に創業、石油業界を中心にBPOを提供し、ITサービスのノウハウを蓄積してきた。その経験と技術力を生かして、1995年ごろよりインテグレーション事業やデータセンター事業を展開。2009年から企業向けのクラウドサービスに注力し、2013年にはビッグデータ環境にも適した「Dream Cloud」サービスを開始した。2015年8月末時点で導入企業数1,000社を超え、強力な“運用力”に信頼を置くエンタープライズユーザーは多い。

VMware vSphereを活用しており、VUEMウェアのクラウド技術を高く評価していました。互いにより関係を築いており、企業としての信頼性も決め手の1つでした」(高橋氏)

従来のアイネットでは、ストレージを拡張するときには一般的なミッドレンジストレージを導入していました。APIに対応したデバイスであったため、管理ツールなどからの制御は可能でしたが、自動化までは実現することができませんでした。そのため、仮想マシンのプロビジョニングに、最低でも3営業日はかかっていた。

「SDDCの採用を検討していた当初は、ストレージは標準的な専用デバイスを使用し、自動化の部分は何とか開発しようと考えていました。しかし、VMware VSANは大幅なコスト削減が図れるところが魅力でし、入念な検証によってパフォーマンスも安定性も問題ないことがわかったため、採用を決定したのです」と、クラウドサービス事業部プロダクトマーケティング部 担当部長 宮川佳子氏は述べています。

新しいインフラの整備が急務とされる中、アイネットは「プロフェッショナル サービス(VMware PSO)」を活用し、迅速にプロジェクトを進めることを選択しました。VUEMウェアのエンジニアリングによって効果的に実装を進めることができ、約半年という短期間で基盤の構築を達成しました。そして、2015年11月に「Next Generation EASY Cloud」サービスを開始しました。

エンタープライズサービスに適した高いパフォーマンスと運用性

同社のクラウド基盤は、国内3拠点をVMware NSXのネットワークで支えるマルチクラウド構築を採用し、開発環境やDR環境としても活用できるようになっています。サーバー、ネットワーク、ストレージのプロビジョニングはすべてセルフサービス化され、エンドユーザーはポータル

サイトからスピーディにITリソースを確保できるようになりました。

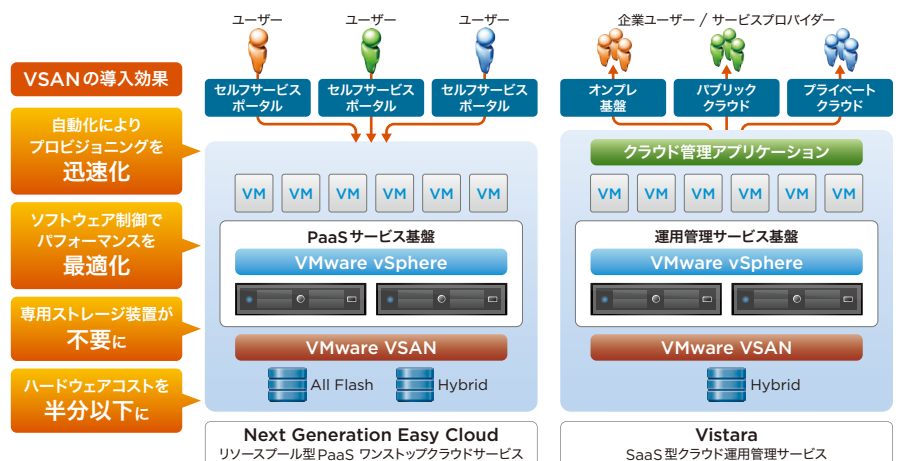
ストレージサービスで問題となっていたテナント間の干渉は解消され、ソフトウェア制御によってプランごとのパフォーマンスレベルをはっきりと区別できるようになりました。

「VMware VSANは、想定よりも高いIOPSを得ることができ、面倒なボリューム管理も不要で、性能面でも運用面でもたいへん満足しています。パフォーマンスの干渉やゆらぎによってサービスレベルを低下させずに済むことは、エンタープライズ向けサービスにとっては重要なことです。ソフトウェアベースであるため、将来的な選択の幅が広く、技術者が新しい企画を積極的に検討できるようになりました。」(宮川氏)

専用ストレージの導入が不要になったため、ストレージ関連機器のコストを大幅に削減することができ、ネットワーク仮想化による費用削減効果も含めて、総合的なクラウド構築コストを大幅に抑えることができました。

「結果的にNext Generation EASY Cloudは、ユーザーのニーズに合わせた柔軟な提案が可能となりました。さらにSaaS型クラウド運用管理サービス『Vistara』の基盤にも採用し、高いコスト効果と性能を生かす予定です。将来的には、オールフラッシュ構成にすることも検討中で、VSANの効果に期待しています」(高橋氏)

アイネットでは、数多くのミッションクリティカルシステムが稼働するクラウドの信頼性を保ちつつ、新しいアプリケーションやサービスの開発にも意欲的に取り組んでいく予定です。今後もVMware NSXやVMware VSANのドキュメントを活用して、さまざまなノウハウを蓄積したいと高橋氏は述べています。これからも、アイネットの先進的なクラウドサービスをVMwareテクノロジーが支えていくことでしょう。



図：ストレージ仮想化による先進的なクラウドサービスの実現

